



撮影協力：グリーンセンター磯辺



シクラメン

地中海地方原産で花期は秋から春。冬の花としても有名です。和名は「豚の鰻頭（ブタノマンジウ）」と「篝火花（カガリビバナ）」の2つがあります。品種改良が進められ黄色や二色、フリンジ咲き、八重咲きなどがあります。日本の鉢植え植物では生産量はトップクラス。

花言葉

「遠慮」「内気」「はにかみ」

置き場所

冬の適温は5℃～15℃です。霜があたりと傷むので霜が降るようであれば室内にいれます。花が咲いている間は玄関のようにな少し涼しい場所に置くと良いでしょう。暖房がきいた部屋には置かないでください。

肥料

5月までは2ヶ月に1回の割合で土の表面に化成肥料を施します。化成肥料の代わりに1週間に1回1000～2000倍に薄めた液体肥料を与えても良いでしょう。

水やり

底面吸水鉢のものが多くですが、1ヶ月に1回は底の受け皿をはずして鉢土の表面からたっぷりと与えましょう。これは土の老廃物や濃くなった肥料の成分を出すためです。葉や花に水がかかると傷むことがあるので葉を手で押しのけて鉢の縁から静かに注ぎましょう。

豊橋警察署だより



夜間ハイビーム運動の推進

～夜間の交通事故ゼロを目指して～

歩行者が犠牲となった交通死亡事故の約6割が夜間に発生しています（平成26年中）。夜間、遠くの歩行者や自転車を早期に発見し事故を回避するには、ヘッドライトのハイビームが有効です。愛知県警では、夜間の交通事故ゼロを目指し、ドライバーの皆さんに「夜間ハイビーム運動の推進」を呼び掛けています。

ハイビームの効果



ロービーム

照射距離約40m
歩行者等の発見が遅れる



ハイビーム

照射距離約100m
遠くの歩行者や自転車を早く発見できる



時速60kmの場合、停止距離は40m必要になることもあり、ロービームでは回避困難です。※路面条件、反射能力等により変わります。

注 対向車や前車がある場合、歩行者を発見した場合は、ロービームにしましょう。

